

POWER FILE★ 1143

満開の桜の下で、今年もサタスタを公開生放送！



～桜前線、西から～ 第21回らくさいさくら祭2015

春うらら。花もラジオも楽しもう！今シーズンもサタスタを公開生放送。

薄紅色に染まった街が、春の訪れをうたう季節。花のもとに人が集い、楽しい催しに沸く「桜前線、西から～第21回らくさいさくら祭2015」が、4月4日(土)・5日(日)に京都市西京区、洛西ニュータウン小畑川中央公園、洛西高島屋・ラクセーヌ専門店街周辺ゾーンで開催されました。

今回も、満開の桜に彩られた一帯に、洛西を走るバスの展示をはじめ、地域物産の販売コーナーや飲食コーナーなど20以上のブースがずらり。毎年、このイベントをプロデュースするKBS京都も、



縁日コーナーや野点を楽しむお茶席などを設けて、大勢の人々に賑わいました。

また会場の特設ステージでは、多彩なイベントを展開。4月4日(土)には、この日から今シーズンのオンエアをスタートさせる「森脇健児のサタデースタジアム」(土/12時～13時)を公開生放送しました。

会場の賑わいと地域の元気を発信！ オフエアでも盛り上がって。

雨の予報を覆し、時折晴れ間もとのぞく天候に恵まれた公開生放送当日。数日前から一気に開花しはじめた桜の色で一帯が染まる中、公開生放送のステージが幕を開けました。

パーソナリティの森脇健児とかみじょうたけしは、意気揚々とステージに登場。半年ぶりの番組とはいえど、二人のコンビネーションはばっちり。さらに今回は、公開生放送スペシャルとあって、お笑いコンビのアルミカンも駆けつけて、一同で笑いっぱいのオープニングを繰り



広げました。

まずはイベント主催者をステージに迎えて、イベントの楽しみどころをご紹介いただく時間。これに続いて、

門川大作京都市長がみなさんにご挨拶。ステージ上で西京のキャラクター「にしきょう たけによん」との共演を果たしました。「青竹」をモチーフとした愛らしい姿のたけによんは、子ど



もたちからも大好評です。

そして、門川市長は、森脇・かみじょうとぎつぱらんなやりとりを交わしながら、豊かな自然と文化が根付く洛西の魅力を力説。地域の取り組みも紹介し、洛西の「元気」をアピールしました。

一方、アルミカンの二人は会場周辺を散策し、気になるスポットからレポート発信。担当者にも話を伺いながら、盛り上がる会場の熱気をお伝えしました。



この春も、満開の桜の下、賑やかな公開生放送を繰り広げたサタスタ。オンエア後も、かみじょうやアルミカンによるパフォーマンスやト

ークショーを展開し、来場者のみなさんをたっぷり笑わせたステージとなりました。

アーティストライブも実施。イベントには2万2千人が来場。

ほかに、地域の団体によるパフォーマンスなどが行われたステージ。4日(土)は、DUFF、OUTER-TRIBEのライブもあり、会場は大いに沸きました。また5日(日)は、KBS京都Special LIVEとして、おうちごはん物語presentsさあさアコースティックLIVEをお届け。ギターとウクレレで4曲が披露されました。さらに「内田あやJ-Country」(火/17時30分～18時)でおなじみの内田あやが、2日間におよぶステージのトリを担当。懐かしくも新しいジャズパニースカントリーの世界を、その清らかな歌声で紡ぎだしました。5日(日)はあいにくの雨となったものの、2日間にわたるイベントの来場者は、のべ2万2千人を数えるところとなりました。

さまざまな催しを通じて「地域」と「人」のパワーを感じた2日間。来年もまた花のたよりが舞い込む頃、大勢の人に楽しんでいただけるイベントをお届けできればと思います。

